

令和2年度の研究(または活動)内容

本研究所は、情報通信技術を用いた教育改善手法の研究を目的としています。

本年度は、新型コロナウイルスの影響があり、研究の展開は限られたものとなってしまいましたが、学科内での意見集約や情報共有にマイクロソフト Teams を使用するなど、効率化、省力化を進めることができました。

教材の開発と講義実施の改善としては、第 4 セメスタから第 6 セメスタに設定されている学生実験において、新規の教材開発とオンラインでの実施を試行しました。単位修得に至らない学生も少なくなく、課題も明らかとなっています。作成したオンライン教材のスクリーンショットを図 1 に示します。

学生管理の効率化の一環として、3 年生後期の研究室配属に用いる配属管理システムを開発しました。認証には全学システムと同じものを用い、使用する学生の負担が少なくなるようにしています。情報通信工学科と電気電子工学科で採用され、学生の研究室配属に関する管理業務を簡素化することができました。スクリーンショットを図 2 に示します。

社会でのネットワーク活用が進んでいることを受け、インターネット安全教室の教材開発と、実施(2回)を行ないました。

ICT 教育活用に関する研究としては、試験採点結果の分析に関する研究を行ない、実用化には至らないものの、採点結果認識に関する知見を得ることができました(図 3)。

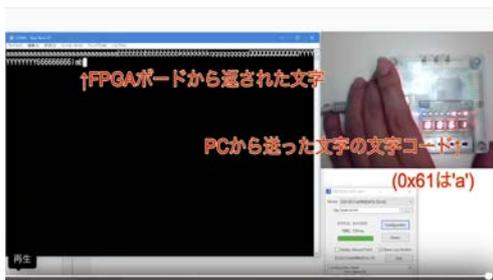


図 1: 実験動画のスクリーンショット

情報通信工学科 3年生研究室配属サイト

<<第1次配属希望の受付は終了しました。>>

ログイン

ユーザID:

パスワード:

Copyright © 2015-2021 Information and Communication Engineering, Tohoku Institute of Technology. All rights reserved.

図 2: 研究室配属システム

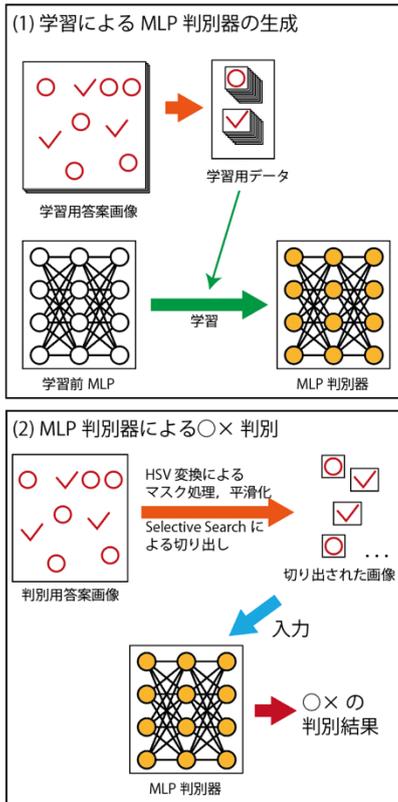


図 3: 試験採点結果の認識システムの処理フロー